



ISRAEL EXPORT INSTITUTE



Ministry of Economy and Industry
Foreign Trade Administration

ISRAEL

日本・イスラエル イノベーションデー

健康寿命を促進する技術

2017年7月24日～26日



医療機器 医療ITにみるイスラエルの革新的技術の紹介





なぜイスラエル？

イスラエルの医療機器業界を支える多様性

様々な企業 - 様々な技術の実装 - 様々な医学的応用法

1990年代末までに、200以上のライフサイエンス企業がイスラエルに本社を構えました。過去10年の着実な成長(毎年新しい企業が40社以上設立されました)により、イスラエルはこの分野に創造性と革新をもたらし続け、現在では1,200以上のライフサイエンス企業が活発に活動しています。

驚くことに、そのうち34%の企業が、この比較的短期間で既に収益を生み出しています。イスラエルの企業家向け収益活動協体制により、スタートアップ企業が、進歩的で商業的に持続可能であり、将来を約束された企業になる機会が生み出されているのです。この業界の発展を示す証拠として、ライフサイエンス企業の輸出額は2008年以降着実に伸び続け、2013年には80億ドルに達しました。一方で、シード期にある企業の豊かなパイプラインも、現在の成長が長続きすることを約束するものとなっています。なかでも最大のセクターは、医療機器とヘルスケアIT技術です(全企業数の60%以上)。医療機器分野において、イスラエルの科学者や技術者は、電子機器、コミュニケーションおよび電気工学の高度な技術を統合し、デジタル画像、医用レーザー、遠隔治療、早期診断および高性能手術機器などにおいてワールドクラスのイノベーションを開発してきました。

医学的応用の様々な分野において、医療機器輸出業者が500社以上関与しており、その分野は心臓血管や末梢血管学、神経系および変性疾患、救急医療、集中治療およびリハビリテーション、呼吸器および気道確保、腫瘍学、女性医療、整形外科およびスポーツ医学、消化器学、感染予防、眼科、疼痛および創傷管理、口腔科および歯科、皮膚科学および医療美学などにわたります。

ライフサイエンス企業がこのように集中している国は、世界でも他にありません。

世界で上位の学術機関や研究機関と深い関係を持つ企業は、高度な教育を受け優れた技術を持ったスタッフを揃え、企業家的な独創的な環境で運営を行っています。その結果、投資家にとって大きな価値を生み出しながら、現在のヘルスケアにおける課題に応える幅広く革新的な医療ソリューションや技術を提供し、ヘルスケア関連コストを全体的に削減して、人口高齢化の中で変化していく世界でのニーズを満たしています。

イスラエル輸出国際協力機構は、加盟企業、民間部門の諸団体、およびイスラエル政府の支援を受け、イスラエルの輸出企業と海外の企業や組織とのビジネス上の関係構築を促進する取り組みを行っています。イスラエル企業に対しては多種多様な輸出志向のサービスを、そして世界の産業界に対しては補完的なサービスをそれぞれ提供することにより、同機構は、世界を巻き込んだジョイントベンチャー、戦略的アライアンス、業界パートナーシップの形成の成功に寄与しています

IEICIのライフサイエンス部は、イスラエルのライフサイエンス業界の企業1,300社以上と、あらゆるレベルにおける世界のビジネスパートナーとを結ぶビジネスマッチングにおけるリーダーです。適切なビジネスパートナー候補を特定してマッチングさせ、1対1のビジネスミーティングを主催するなど、その能力は高い評価を受けており、政府と業界両方とのコンタクトにおいて重要な窓口となっています。

IEICIは、医療機器やヘルスケアIT分野のイスラエルの輸出企業500社以上と継続的に日々のやり取りを行うことをその業務としており、それらの企業のニーズを分析したり、ターゲット市場を特定したり、公式訪問団を通じビジネスの機会を生み出して企業や政府機関との商談を設定したりしています。

MEDICA(ドイツ)、CMEF(中国)、Hospitalar(ブラジル)などの展示会におけるイスラエル公式パビリオンや、北米地域病院のCEO代表団、MEDinISRAELなどは、IEICIで手掛けたプロジェクトの直近の成功例です。

Angela W. Rabinovich, Director, Life Science Department
Tel: +972 -3 -514-2891, E-mail: angela@export.gov.il

Tomer Epstein, Manager, Medical Device & HIT at IEICI
Tel: +972 -3 -51-42938, E-mail: tomere@export.gov.il

www.export.gov.il



Ministry of Economy and Industry
Foreign Trade Administration

経済産業省・外国貿易局は、イスラエル国の国際貿易政策の管理・監督について責任を有します。主な活動領域は、貿易・輸出の促進、イスラエルの貿易条件の改善に関する貿易協定の施行・管理、対イスラエル投資の誘致・推進、外国企業との戦略的協力の創造などです。



イスラエル大使館経済部は日本全国において多彩な活動を展開しています。その基本的な任務は、イスラエルと日本両国間における貿易ならびに各種商取引の振興と経済協力であるとともに、研究開発における二国間相互協力の推進です。この任務を達成するために、イスラエル大使館経済部は日本とイスラエルにおけるさまざまな商工業活動を立ち上げ、組織化し、これに参加してまいりました。当経済部は日本経済界がイスラエルとの間に効果的な連携関係を確立するための支援を積極的に行います。これと同時に当経済部は、日本市場について豊富な経験を積み、理解を深め、日本国内でのネットワークを構築しました。さらには、部内に多言語チームを擁することで、イスラエル企業の日本におけるビジネスチャンスが多角的に支援しております。またイスラエル大使館経済部は、イスラエル企業による日本での見本市出展活動をや各種商業目的イベントへの参加を支援、奨励するとともに、日本の実業家に対して、イスラエル視察団への参加や、現地展示会やその他の商業イベントへの出展を推奨しています。

イスラエル大使館 経済部
Tel: +81-3-3264-0398, tokyo@israeltrade.gov.il

www.itrade.gov.il/japan

ラン・D・バリサー (Ran D Balicer) MD, Ph.D, MPH
Clalit Research Institute ディレクター
Clalit Health Servicesディレクター(医療政策・ヘルスサービス部門・医局)



ベン＝グリオン大学
健康科学部 疫学科 准教授

101 Arlozorov St. Tel-Aviv, Israel Tel: +972-50-626-0200
Fax: +972-3-760-5711
rbalicer@clalit.org.il

公衆衛生医師であり、管理職および研究者でもあるラン・バリサー教授は、Clalit Research Instituteの創業者であり、イスラエルの人口の50%以上にサービスを提供しているイスラエル最大のヘルスケア組織、Clalitの健康政策部長を務めています。彼はこのような役職のもと、ヘルスケアの質の向上と格差の縮小、および有効性の改善を目指した、全組織的な新しい介入案の戦略的立案と策定を担当しています。それには主に、実生活における有効性調査や予測モデル化、意思決定支援ツールおよび予防ケアモデルなどに焦点を絞ったデータ駆動型ツールの実用化などが含まれます。バリサー教授が指揮するClalit Research Instituteは、世界保健機関より「非感染性疾患の研究、予防および対策におけるWHO協力センター」に指定されています

彼はテルアビブ大学において医師免許(M.D.)を取得し、その後ベン＝グリオン大学よりヘルスケアマネジメントとMPHの博士号を授与されました。学界においては、バリサー教授はベン＝グリオン大学のMPHプログラムにおいてカリキュラム構成・運営を務めており、博士課程の学生のメンターを務めながら、これまでに100本以上の論文を執筆しています。バリサー教授は主に、ケアサービスの提供と政策立案における広範囲に及ぶ臨床データベースの研究に取り組んでいます。

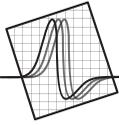
イスラエルにおいては、バリサー教授は専門家として、イスラエル・ヘルスケア品質協会(the Israeli Society for Quality in Healthcare)会長、ISPOR(薬化学経済・効果分析国際協会/the International Society of Pharmacoeconomics and Outcomes Research)地方支部長、イスラエル保健省顧問などの要職に就いています。

バリサー教授は、WHOのヨーロッパ地方事務局において、非感染性疾患のモニタリングおよび予防、健康的な老化および統合ヘルスケアシステムに焦点を絞ったプロジェクトの、アドバイザーグループのメンバーを務めています。彼はまた、国際統合ケア財団(the International Foundation for Integrated Care)の役員でもあります。



コンテンツ

Alango Technologies, Ltd.	8
CNOGA MEDICAL Ltd.....	9
Hip Hope Technologies.....	10
InSightec.....	11
Lev-Med.....	12
Out Sense.....	13
ProCore Ltd.	14
Talshir Medical Technologies Ltd.....	15
Vayyar Imaging Ltd.....	16



ALANGO

Technologies and solutions

アレクサンダー・ゴールドイン

(Alexander Goldin) 博士

CEO、創業者

携帯: +972-54-754-3300

alexander.goldin@alango.com



www.alango.com

Alango Technologies, Ltd.

Alango Technologies, Ltd.は、コミュニケーションおよびエンターテインメント市場向けの音声増強技術におけるリーディングサプライヤーです。当社のアルゴリズムとソフトウェアは世界中の何百万ものコミュニケーション製品に使用されており、Alangoは騒音の多い残響環境あるいは好ましくない音響環境で機能する、デジタル音声処理技術の開発および技術供与において、15年以上の実際的な経験を蓄積してきました。

世界保健機関では、世界の人口の14~16%が聴力レベル25 dB以上の難聴を患っていると推定しています。しかし、難聴の人々のうち、補聴器を使用しているのは5%以下です。この大きな要因は、費用の高さ、補聴器への悪いイメージ、不便さ、機能の乏しさ、期待する効果が得られないなどの理由による、取り込みの低さです。

音声増強技術に関する当社の専門知識を活用し、従来の補聴器に代わる、多機能かつ高性能な低コストの代替品をシリーズで生み出すことが、Alangoのビジョンです。この目的のため、Alangoでは、当社の聞き取り補助製品「Wear & Hear」シリーズで初となるコンセプト製品、BeHear™を発売予定です。この製品は、デジタル補聴器の機能、Bluetoothのステレオヘッドホンと、聞き取り補助装置を組み合わせたものです。この製品により、好みに応じ調節可能な質の高い聞き取りが、容易にかつ手頃に得られます。

BeHearは、軽度から中度難聴の人々が、室内、屋外、電話、録音された音楽、ライブコンサートなど、あらゆる環境でより良く聞き取りできるように設計されています。

BeHearは医療機器ではありませんが、補聴器に見られるデジタル聞き取り強化技術をほぼ全て備えています。重要な環境音、人々の話し声など、あらゆる音源からの音が増幅、増強され、個々人の聞き取りの好みに合うように適応されます。

BeHearは、聞き取り増強の新時代の先駆けであり、その先では、スタイリッシュかつ手頃で、常時動作する、常時接続のウェアラブル音声装置によって、非常に明瞭かつ驚くほど自然にカスタマイズされた音声、個々人の耳に直接届けられているのです。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: ヘルスケアIT

サブカテゴリ: ソフトウェアおよびハードウェア

治療領域: 耳、鼻および咽喉 (ENT)

企業ステータス: 概念実証段階

ニッチ市場: 高齢者ケア

CNOGA MEDICAL Ltd.

CNOGA Medical Ltd. は、革新的な非侵襲性医療用モニタリング装置の開発および販売を行っています。独自のアルゴリズムにより画像センサデータを分析し、その結果14のバイオパラメータ分析が提供されます。Cnoga装置はポータブルサイズで、簡単に使用可能です。患者が装置に指を差し込むだけで自動的に測定が開始され、1分で14の血液パラメータが得られます。結果は安全なサーバに転送した上で、確認や整理をすることが可能です。

当社は最近、中国メーカーのBOEから5千万ドルの資金提供を受けました。当社はイスラエルのオルアキバに本社を置き、中国の常州市とブラジルのサンパウロにも拠点があります。

非侵襲性装置TensorTip:

MTX(14種のバイオパラメータ)

以下のような血行動態検査および血液化学検査を非侵襲的に行います。ヘモグロビン値、ヘマトクリット値、RBC、血圧(カフ不要!)、脈拍数、飽和度、心拍出量、MAP、SV、PO2、PCO2、波形(心拍数、脈拍数、血圧)

VSM(バイタルサインモニタ)

小型の非侵襲性モニタリング装置で、カフを使用せずに、連続血圧および脈拍数、SpO2を測定できます。

CoG非侵襲性血糖値測定器

糖尿病用の非侵襲性血糖値測定器で、針は不要です。CoGによって、糖尿病患者は、自ら検査を行うことにより、血糖値を測定するための正確な非侵襲性ソリューションが得られます。

認証ステータス:

ヨーロッパ: すべてのパラメータについてCEマーク認証を取得

中国: すべてのパラメータについてCFDA認証を取得

イスラエル: すべてのパラメータについてAMAR認証を取得

アメリカ: 血圧および脈拍数の2つのパラメータについてFDA認証を取得

ブラジル: すべてのパラメータについてANVISA認証を取得

カナダ: MTXおよびVSMの販売についてMOH(保健省)の認可を取得

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: モニタリング、診断、遠隔治療

治療領域: 糖尿病、内分泌学、心血管疾患、救急医療、健康全般、肺疾患、プライマリーケア、呼吸器、女性医療

企業ステータス: 販売数増加中。日本では承認待ち

ニッチ市場: eヘルス、慢性疾患患者、在宅ケア、一般開業医、遠隔地医療、緊急治療室、労働衛生医学



Hip Hope の技術

Hip Hope Technologies (HHT) は Hip Hope™ を開発しました。Hip Hope™ とは、骨密度低下 (骨粗しょう症) や、転倒防止につながる体のバランスの喪失に悩んでいる高齢者の臀部骨折の原因となる、転倒による衝撃を軽減することを目的とした高機能ウェアラブル臀部保護装置です。

Hip Hope のベルト型空気注入式装置には、慣性を利用した独自の近接センサをベースとした、これまでの常識を打ち破るような当社専有の転倒検知技術が組み込まれています。今にも地面に衝突しそうだと検知すると、システムによって即座に2つの大型エアバッグが展開され、臀部を包み込み、転倒による衝撃を大幅に軽減します。この装置では、独自の非破裂性膨張機構を採用しています。転倒アラート通知は、スマートフォンのアプリケーションによって自動的に介護者に送信されます。

Hip-Hope™ によって、転倒による衝撃のピーク値が%90軽減されます。日々の生活において付加価値のある機能も複数備えており、その中には、ユーザー活動の遠隔操作や位置監視、装置のステータス管理およびユーザーが操作可能な内蔵型緊急アラートボタンなどがあります。Hip Hope™ は、市場に初めて登場した (そして現在でも唯一の) 能動型臀部保護装置です。最初の製品ユニットは、イスラエルで発売、展開されています。

追加の製品ユニットは現在、カナダとスイスでの販売を進めているところです。

Hip-Hope™ については、現在EU、カナダおよび日本で特許を出願中です。転倒検知法については、米国ですでに特許を取得しています。PCT出願が追加されました。

Hip Hope™ はFDAに登録されており、CE、Health-CanadaおよびAMAR認証を取得しています。

HHTはISO 13485認証を取得しています

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: 医療機器、モニタリング装置

治療領域: 整形外科、リハビリテーション

企業ステータス: 初期収益期

ニッチ市場: 高齢者ケア、在宅ケア



INSIGHTTEC

INSIGHTTECは、神経領域、がん領域、および女性医療域の症状に適用となる、有効性が実証された非侵襲性治療法を提供するExablateプラットフォームを開発、販売しています。Exablateプラットフォームでは、磁気共鳴画像法(MRI)により誘導された高周波集束超音波を組み合わせた、画期的なMRgFUS技術を使用しています。

作用の仕組みは？

MRI誘導された独自の組み合わせによる集束超音波により、組織への標的を正確に定めるだけでなく、治療効果を直接リアルタイムで熱モニタリングすることが可能になります。

INSIGHTTECが持つ神経外科用のソリューションであるExablate Neuroは、本態性振戦の患者に対する適用でFDA承認を取得した、初めての集束超音波機器です。

Exablate Neuroは、個人用の非侵襲性画像誘導視床切除術で、頭蓋骨に穿頭せず、放射線や切開、あるいは移植を必要としません。振戦を生じさせる原因であると考えられている脳の中の小さな部位、視床中間腹側核の中心へ、集束超音波によって正確に標的を定め、焼却します。MRIによって、高解像度での視覚化、患者特有の治療計画の策定、および治療の継続的モニタリングが可能で、結果として、患者に起こる振戦の症状を、迅速かつ大幅に軽減することができます。

Exablate Neuro装置および視床切除術に関連して発生する可能性のあるリスクで最も一般的なのは、長期にわたる一時的なしびれやうずきです。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: 治療学、最小侵襲システム

治療領域: 神経外科、腫瘍学、女性医療および泌尿器科

企業ステータス: 初期収益期

ニッチ市場: 高齢者ケア



LevMed

LevMedは、簡単に健康を維持するという目標を掲げ、心臓モニタリングおよび診断を行うソリューションの開発、製造、ならびに販売に力を注いでいます。

現在、当社の主力製品群には、再利用可能な12ジャンクションECGベルトなどがあり、診療所や長期ケア、在宅ケア、病院、救急センター、遠隔地、スポーツセンター、従業員健康アセスメント機関、航空会社から軍隊など、幅広い臨床現場において安静時の心電図評価を行う際に、簡単に素早い評価が可能な費用対効果の高いソリューションを提供しています。

従来使用されているECG使い捨て電極や吸引電極とは異なり、当社のECG電極ベルトでは消耗品や電極用ジェル、剃毛が不要です。ベルトを使用することで心電図評価にかかる時間やコストが削減されるため、専門家だけでなく一般の人でも評価が可能になり、さらに患者満足度も向上させることができます。

当社のECG電極ベルトは、あらゆる心電図装置と互換性があり、様々な市場や臨床現場で広く使用されています。

当社は先日、モバイル型12誘導心電図システムを販売開始しました。本製品はBluetoothを通じてAndroid/iOS/パソコン機器と接続可能な心電図トランスミッタとECGベルトから構成されます。本製品があれば、いつでも、世界のどこにいても、誰もが病院と同等の遠隔治療および在宅ケア診断を行うことができ、簡単に健康を保つ(Keeping Health Simple™)ことが可能になります。

技術および製品:

LevMedのECG電極ベルトはシンプルなソリューションで、心電図装置を利用するあらゆる臨床環境において、専門家だけでなく誰もが心電図評価を実施できます。ECG電極ベルトは、再利用可能な超柔軟性シリコン製エプロンに、あらかじめ配線された再利用可能な独自の電極がつけられており、電極から伸びるワイヤーがシリコン製エプロンを通して引っ張られることで、心電図装置へ接続できる仕組みです。ワイヤーを含むエプロン全体に柔軟性があり、男女問わず、様々な体形に沿ってフィットします。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: 遠隔治療、医療機器

治療領域: 心血管系、健康全般、救急医療

企業ステータス: 初期収益期

ニッチ市場: 高齢者ケア、スポーツ医学、在宅ケア



OutSense

OutSenseは、病気の早期発見および健康モニタリングツール用のIOTセンサを開発しています。現在はトイレに流されている価値ある情報によって、健康を増進し、命を救うことができます！

毎日の生活において、バイオ排泄物という形で、私たちの健康状態を伝えるレポートが生成されています。この情報を革新的な画像技術によって利用し、胃腸の健康状態を改善することができます。OutSenseセンサによって、健康に関する重要なパラメータがモニタリングされ、その結果は携帯機器のアプリケーションに送信されます。そのパラメータのひとつが潜血であり、結腸癌のスクリーニングにおいて確立され、広く使用されているツールです。SA-Mセンサによって、手遅れになる前に患者と医師に対してアラートが出され、結果として、正確性に欠け十分に活用されていない現在の検体検査に代用されることとなります。

SA-Mはハンズフリー型の自動排泄物継続モニタリングセンサであり、排泄物中の血液の跡を特定することができます。年に1度しか使用されていない既存の科学的診断キットでは、精度が悪いうえに基準への適合性も低いですが、SA-Mでは、1年に何百回もの測定を行うことができます。異常所見は全て、デジタルヘルスプラットフォームを通じ、担当の介護者に直接転送されます。

このプラットフォームは、過敏性腸症候群、クローン病、大腸炎の管理など、その他のGI指標に加え、生活様式や個別の栄養管理にも役立ちます。

当社の技術により、人類の歴史において初めて消費者が自らの排泄物を自動的に検査し、化学組成および物理組成に基づいた実用的な所見をすぐに受け取ることができるようになります。これによって人々に、個人としての健康を増強し、服薬順守を改善し、食生活や個人的な栄養面でのニーズをモニタリングする新しい方法がもたらされるでしょう。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: モニタリング、診断

治療領域: 胃腸器、健康全般、腫瘍学

企業ステータス: 収益成長期

ニッチ市場: 高齢者ケア、在宅ケア



アブネル・ヤーヨン
(Avner Yayon) 教授
CEO, 創業者
携帯: +972-54-420-7586
yayon@procore-bio.com



www.procore-bio.com

ProCore Ltd.

Procore BioMedは2008年に設立されました。骨および軟骨の修復を中心に、革新的で費用効果の高い組織再生のソリューションを開発する再生医療企業です。

当社の最初の製品RegenoGelは変形性膝関節症(OA)の治療に適用されるものであり、2016年の2月にイスラエルで承認され販売が開始されました。当社の技術プラットフォームには、組織の微環境を模倣した新型のナノマテリアルや、特許取得の成長因子、および革新的な幹細胞技術などがあります。

変形性関節症は、関節を消耗させる、最もよく見られる疾患ですが、人口の高齢化が進む中で圧倒的に多くなっています。疼痛の軽減や、モビリゼーションとクオリティ・オブ・ライフ(QoL)の改善に有効な安全かつ効果的な治療法へのニーズは、未だ存在しています。

RegenoGelおよびRegenoGel-OSPは、それぞれ、高分子量ヒアルロン酸(HA)をフィブリノゲンまたは自家血漿と結合させたものです。これらの製品は優れた弾性と再生効果を示し、長期にわたる関節の保護と再生をサポートする微環境としては最適です。

市場に流通している既存の関節内補充薬と異なりRegenoGelとRegenoGel-OSPは粘稠液となるだけでなく、膝関節に注入されると堅いヒドロゲルとなり、関節内で長く保持されることで機能が改善されます。膝関節にかかる局所的な力を消散させる衝撃吸収材として作用するだけでなく、軟骨細胞(軟骨産生細胞)の成長および成熟のための導電剤としても作用し、損傷した関節部の回復やリハビリテーションが可能になります。RegenoGelとRegenoGel-OSPによって、疼痛が大幅に軽減される再生微環境がもたらされ、クオリティ・オブ・ライフの全体的な改善につながります。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: 低侵襲システム

治療領域: 健康全般、炎症、整形外科、リハビリテーション、女性医療

企業ステータス: 臨床試験段階、初期収益期

ニッチ市場: 高齢者ケア、スポーツ医学

Talshir Medical Technologies Ltd.

Talshir Medical Technologiesは2009年に設立された、RevitalVision(前Neurovision)技術の国際所有者およびマーケターです。

Revitalvisionは、コントラスト感度および脳内の視覚処理に焦点を絞ったものです。成人の弱視への適用でFDAの承認を受けており、CEマーク認証も取得しています。患者はプログラムの過程において、パソコンの画面から特殊な視覚刺激を受けます。それは知覚学習プロセスを作り出すもので、脳が、ぼやけた画像をより鮮明な画像へとよりうまく処理できるようになります。この治療は、弱視の成人および様々な眼疾患に悩む人々の矯正視力を、眼のみを治療するという現在使用可能な治療法以上に改善させることを目的としたものです。RevitalVisionは臨床試験において、軽度の屈折異常を持つ人々の裸眼視力を改善する効果も認められています。人口の高齢化は、眼疾患や視力低下の増加につながります。RevitalVisionを使い脳からアプローチすることで、ほとんどの人々の視覚を大幅に改善することができます。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器、ヘルスケアIT

サブカテゴリ: 医療機器、遠隔治療

インターネット・ベース、健康情報、ソフトウェアおよびハードウェア

治療領域: 眼科

企業ステータス: 収益成長期

ニッチ市場: 高齢者介護、スポーツ医学、スマート・カー、在宅ケア、サイバー医療



岡野秀毅

シニア・ディレクター

ビジネス開発担当

電話: +81-3-5456-8540

vayyar@japan21.co.jp

(日本語可)



www.vayyar.com

Vayyar Imaging Ltd. (バイアー・イメージング)

Vayyar(バイアー)社は、電波を使った乳がん検出という革新的技術の実用化を目指しています。この技術はあらゆる用途に使えるセンサーです。

呼吸・心拍の検出や、プライバシーを侵害することなく、人の居場所や動きの追跡、姿勢、体格の認識等が可能です。侵入者感知も可能です。

「夜勤」等、看護師・介護士の皆様の肉体的・精神的負担を劇的に軽減できるセンサーとして注目されています。

カテゴリ、サブカテゴリおよび治療領域

カテゴリ: 医療機器

サブカテゴリ: イメージング、モニタリング、診断、医療機器

治療領域: 一般健康、婦人科、プライマリーケア

企業ステータス: R&D、コンセプトの証明

ニッチ市場: 高齢者ケア、在宅ケア、病院インフラ



MEDinISRAEL

THE HEARTBEAT OF MEDICAL INNOVATION

開催決定

第5回
「医療機器および医療IT国際シンポジウム&展示会」
2019年3月 会場 テル・アビブ市内

ご来場お待ちしております
MEDINISRAEL@EXPORT.GOV.IL





ISRAEL EXPORT INSTITUTE

This publication is for informational purposes only. While every effort has been made to ensure that the information is correct, The Israel Export & International Cooperation Institute assumes no responsibility for damages, financial or otherwise, caused by the information herein.

© July 2017 The Israel Export & International Cooperation Institute

Production: IEICI Media & Communication Division | Design: Studio Eti Kalderon